

日中相交

2017年9月号

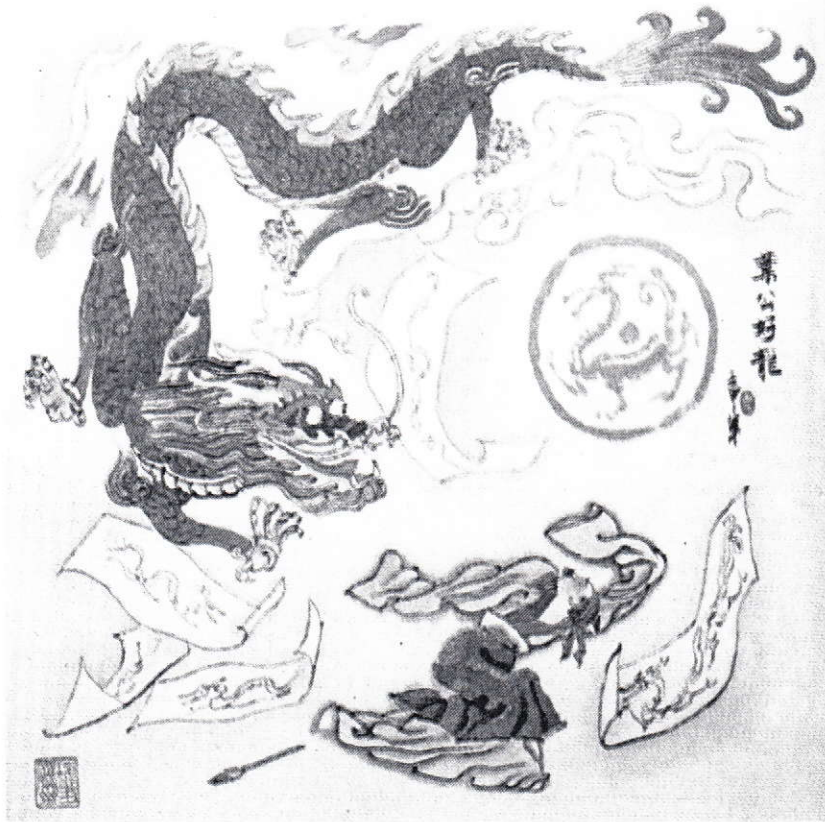
沼津市日中友好協会発行

沼津市日中友好協会事務局

沼津市東岡門1の3の4

☎fax 055 962 5628 厚本

名^なあり、実^みなし



(日)名ばかりで実質が伴わないこと、評判と実際とが食い違うことをいう
「名の不慮からず」ものならば理想と現実とは一致するものだが「嘘の世の中」といわれるほどもともと人生には偽りが多く真実が少ないということ。

(類)骨盤を撫でて老軀に鞭打つ、有名無実。

yè gōng hào lóng

(中)葉 公 好 龍

名ばかりで実質が伴わないこと、評判と実際とが食い違っていること、有名無実。

(英)More profit and honour.

(利益が大きく栄誉がすくない。)

(韓) 유명무실하다.

名の無い星は宵から出る

つまらない髪飾りが冠の外で揺れ動くことをさしているたとえ。

沼津市日中友好協会の取組み

沼津市日中友好協会

会 長 渡 邊 博 夫

この度、沼津市日中友好協会2017年度定例総会において会長に選任されましたので、
就任のご挨拶を申し上げます。

本協会は、1965年（昭和40年）7月、沼津医師会館にて二橋正夫議長のもと 創立総会が開催され、
会員45名と共に発足、以来、今日まで脈々とその歩みを進め、現在、80名の会員をもって
その目的である「日本と中国両国民の相互の理解と友好 を深め以て両国の繁栄と世界平和に貢献すること」
をもって活動しています。活動においては、中国事情の研究や紹介、両国民の各分野に亘る交流の促進、
中国語講座や合唱団などの講座や教室を置き、なかでも中国語講座は熱心な受講生
により活動の中心となっております。

また、近年では、2012年に日中国交正常化40周年記念「地上の天空／北京・故宮博物院展」
の見学や2015年の映画「15歳の夏」上映、2016年には 第16回浙江省青少年民族芸術団公演
を沼津市民文化センターに800名の観客を 集めて開催するなど、会員はもとより伊藤前会長
をはじめ熱心な役員各位の尽力により、誠心誠意の活動が継続されてきたことに深く感謝の意を表します。

本年度の活動は前述の活動に加え、7月9日（日）の西伊豆中国人殉難者慰霊の集い、9月8日（金）
には中国大使館訪問及び何香凝（かこうぎょう、中国の著名な画家で女性運動家・革命家として
大きな足跡を残した）美術展（日中国交正常化45周年記念、東京・上野の森美術館）の見学を予定
しております。会長就任において課題とされることは、何と云っても会員の増強であります。
現在、日中友好とはいえ若干難しい環境にあるように思いますが、文化・芸術等による交流は
いつの時代でも尽きることのない永遠の絆でありあることから、広く理解を求め協力を頂けるよう会
の運営に努めて参ります。新しい時代の国際社会の特徴の一つは、国と国との繋がり他に、
地方自治体の 姉妹都市交流や、民間財団やNGO等の民間組織、企業、個人など多様なレベルでの
国際協力関係が広がっていることであり、国民一人一人が担い手とされる国際交流が必要になっている
ものと思います。こうした環境になかで本会もその目標達成にまい進して参る所存であります。

どうぞ今後とも本協会に対しご理解ご協力をよろしくお願い申し上げます。



沼津日中友好協会「広報誌・日中相交」発行に寄せて

沼津日中友好協会 会長 渡 邊 博 夫

私ども沼津日中友好協会は、日中友好を二千年来の歴史と永遠の未来を貫く民族の課題であり、両国が常に平和で友好的な関係を保ちあっていくことは、日中両国の繁栄に有益であるばかりでなく、世界平和のためにも必要不可欠なことであると考えます。このことから、本協会は政治・思想・信条の垣根を越え、政党政派にかかわらず、日中友好を願う各界各層の人々が結集する市民組織として、「中国を知り、中国に親しむ」をモットーに、諸活動事業の実施を通じて日中友好と両国の交流促進を目指しています。

そこで、この度、こうした活動を広く皆様に知っていただくことを第一に、本会の趣旨にご賛同いただける方々との仲間づくりをいたしたく広報誌を発行してまいります。

凡そ広報誌は、伝達を言葉から文字化することで、平等に情報を共有できること、紙面を通じて個々人の考えを知ることができること、自らが情報発信者になることができるなど、その効用が期待できるものです。そして紙面を通じて全体の一体感を醸成することができることから、広報誌の発行に大いに期待を寄せるものであり、皆様の熱い思いと共に有意義な広報誌となりますよう念じております。なお、発行は年3回（1月、5月、9月）の予定です。

この他にも好評の中国語講座生・中国歌謡合唱団員の募集ほか、中国との文化交流や親睦行事を企画し丁寧な情報提供のもと、随時仲間を募集してまいります。

「2017 年度大中物産杯日本語弁論大会」

理事 曾克

四月八日、北京にある中国伝媒大学で「2017 年度大中物産杯日本語弁論大会」を開催しました。これは東京銀座にある「大中物産株式会社」という商社と中国伝媒大学による共同主催のイベントで中日国交正常化45周年の記念活動になります。



応募受付が開始しますと北京 14 大学と天津 10 大学の計 434 人の応募者が殺到してきました。予選戦の結果、16 名の入選者が決勝戦に入りステージに立ちます。

弁論大会のテーマとして、「90 後(90 年代生まれ)のわたし」、「わたしの知りたい日本」、「もし私に四次元ポケットがあったら」で、その中に三選一で日本語力、作文内容、質疑応答、パフォーマンスの競い合いを行いました。激戦を通して優勝賞(南開大学)、準優賞(河北工業大学)、第三位(北京語言大学)、特別賞(北京大学)はそれぞれ一人ノ結果になりました。

今回の「大中物産杯日本語弁論大会」は11 回目になり、例年と同じ関係者たちから高く評価されました。「両国青少年の交流を深めること」、「若い世代を中心として、相互理解を更に深め、信頼関係を醸成し、両国の友好関係の更なる深化への貢献に期待する」、「両国の民間交流の深化の為に非常に意義のあるイベント。これからも引き続き開催してほしい」、などのコメントがあげられています。

2016 年 7 月、日本外務大臣から表彰をされた「大中物産杯日本語弁論大会」は、中国における日本語教育の推進に貢献しています。

長年にわたって大中物産株式会社は日中友好関係の促進に力を尽くしています。ついでにいきますと、「大中物産杯日本語弁論大会」の事務局担当は私の友人で、一昨年「中国人殉難者慰霊」に参加に来た「大中物産株式会社北京事務所」の王です。

☆理事の曾克さんより現在中国における未来を担う若者の日中友好関係

民間交流の貴重なイベントの情報をいただきました。

このようなイベントが中国国内で行われているのは、とても喜ばしいことですね。 感謝！

突撃クラス訪問 水曜班 午前

可愛♡可愛♡ 小島老師

今回の突撃クラス訪問は、厚木編集員が所属し、現在中国へ留学中の大澤編集員が所属していた水曜班午前、古地班長が率いる小島先生のクラスへ2017年8月2日、松原が突撃取材に行ってきました。水曜午前10時から労政会館で講座は行われています。松原、朝が弱いため5分遅れて講座会場へ到着。コンコン、失礼します。「どうぞどうぞ」と小島先生。日中相交の突撃にきました。よろしくお願ひします。日本語であいさつをすると、ささっと、軽い身のこなしで小島先生は私の席を作ってくださいました。そして授業は単語、動詞や名詞の復習を行っている最中でした。リズム良く席順に小島先生が指していきます、あれっあれっあれっ、いつの間にか私の順番。「はい次、松原さん」え？わかんないよ、ちゃんと勉強しておくのだったな。松原に比べ、流石！クラスの皆様しっかりと答えられています。皆さん中国語がしっかり身につけているのがわかりました。復習は続きます。二つ動詞を使った文の作成。家にある電化製品をあげる・・・そして小島先生は丁寧に文章を正しく直し、バッチリ褒める。褒めて褒める。更に日本と中国の文化の違いも新しい目線でクラス皆様にわかりやすく説明。その説明も楽しい。オンドルの事、中国での畳の事情とても興味深かったです。小島先生のお話する中国語はテレビやラジオのアナウンサーみたいでとても美しい。それに先生は可愛い。楽しい授業だ。授業は続く、ひとりひとり教科書の音読確認、そして発音を丁寧にアドバイス行っていた。班長の古地さんは、しっかり予習を行ってきていました。やる気満々です。古地さんは「なにせ、難しいからね。」と話していたけれど、小島先生がやる気を引き出しているのがわかりました。これこそ小島先生の授業の魅力だろう。

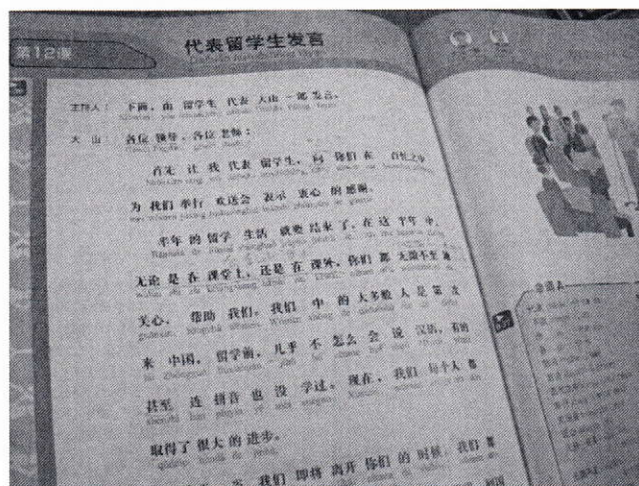


今日は5名の出席者。残念ながら厚木編集員は欠席。

授業風景♪とっても熱心に学びます。

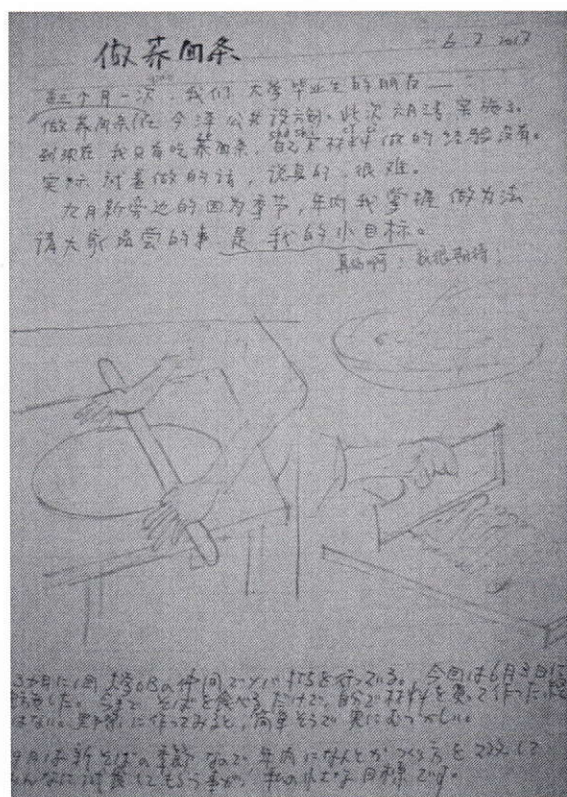


取材当日の教科書内容

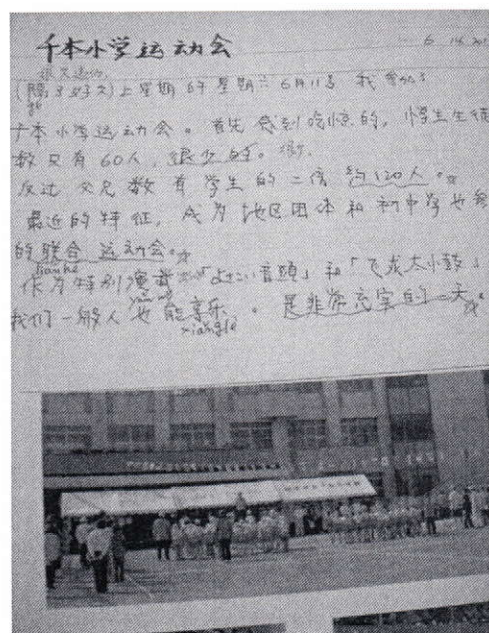


教科書は各班使っているものが違います。水曜班はこちらを使っていました。

楽しいクラスです。笑顔が溢れしっかり学ぶ。小島先生の人柄を慕って、皆さん本当に楽しく授業を受けているのがわかりました。でもカメラをむいたら下向いてしまいます。恥ずかしがり屋さんたち♡



左と下の写真は、小島先生のクラスで授業を受けている厚木編集員の蕎麦打ちと千本小運動会を題材にした中国語の作文。このように各講座生が文を作り、小島先生が添削をし、授業の中で教材として使う事もあるとか。



様々な角度で、中国語を学べるクラスだな。と感じました。語学を学ぶ楽しさが溢れていました。

講座生も仲が良い♪

小島先生の明るくて優しいお人柄が授業に表現され、とてもわかりやすい楽しい授業でした。

西伊豆町中国人中国人殉難者慰霊の集い 参加報告

西伊豆町中国人殉難者慰霊の集いがお行われました。仁科鉦山に国策軍需会社があり、1944年から1945年初頭にかけて中国から強制連行された一般人が過酷な労働を強いられ、82名の死者をだしました。彼らの霊を慰め今後の平和を祈る42回目の式典に私たち沼津市日中友好協会も参加しました。70数年前にあった事実を後世に伝え、異国の地で命を奪われた方々の為に年に一度だけ行われる慰霊の集いです。来年も開催されます。ぜひ、多くの方に参列していただきたいと思いました。慰霊の集いです、決して楽しい遠足ではありません。悲しい気持ちになるかもしれません。しかし、現代を平和に生きる私たちには大変意味のある大切な集いです。

中国語講座・合唱団 オープンスクール開催

2017年11月1日～30日

中国語講座・合唱団ではオープンスクールを開催いたします。この期間は自由に講座を聴講できます。この機会に沼津市日中友好協会で行われている講座を見学してみてください。期間中の参加は無料です。

オープンスクール日程、会場は講座日程表をご覧ください。

参加希望の方は事務局厚木055-962-5628までご連絡お願いいたします。

講座生、団員は参加希望班の班長まで連絡をお願いいたします。

また、通常講座生、合唱団員も募集しています。

中国語講座料 沼津日中会員 3か月 13500円 非会員 15000円

合唱団 1か月 2000円（月2回）

詳しくはホームページをご覧ください。

沼津市日中友好協会会員 随時募集中

沼津市日中友好協会では会員を随時募集しています。年会費3600円。途中入会の場合は月割りです。中国語講座の割引制度、年3回の会報（日中相交）、各種行事の会員価格など。

入会は事務局 厚木まで 055-962-5628

~~~~編集後記~~~~

一生懸命作りました。松原と厚木の二人で頑張ったよ。自画自賛してもいいよね。

相変わらず編集委員募集中。お手伝いをしていただけの方よろしくお願ひします。何でも良いのです。パッチン留めとか…封筒入れとか… 今、一番の問題はスキャナーを松原持って無いのです。次の1月号の表紙を作成できない… 松原が持っている資料をスキャナーで写し添付で送ってくれるだけでも救世主!!!

投稿歓迎&編集員歓迎 編集長松原 [yumei0163@gmail.com](mailto:yumei0163@gmail.com)

編集 松原裕美

事務局 厚木啓作